

みんなで考える「温暖化からひょうごを守る適応策」 in 尼崎

～県民協働による温暖化影響調査ワークショップ～

事前アンケート票

この度は、『みんなで考える「温暖化からひょうごを守る適応策」 in 尼崎』に参加をお申し込みいただき、ありがとうございます。

開催に先立ち、みなさまの地球温暖化に関するお考えを伺うアンケートにご協力をお願いします。

お手数ですが、回答可能な箇所のみで結構ですので、以下のQ1～7にご回答の上、当日（2月20日（火）13時～）、会場（塚口さんさんタウン2番館4階コミュニティホール）までご持参いただきますようよろしくお願いいたします。

それでは、当日、お気をつけてお越しください。みなさまのご来場をお待ちしております。

【お問い合わせ先】

兵庫県農政環境部環境管理局温暖化対策課

E-mail : ondankataisaku@pref.hyogo.lg.jp

TEL : 078-362-3273 FAX : 078-382-1580

【みんなで考える「温暖化からひょうごを守る適応策」 in 尼崎の開催について】

兵庫県では低炭素社会の実現に向け、「兵庫県地球温暖化対策推進計画」を策定し、省エネ・節電・緑化・太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入等、温室効果ガスの排出を抑える取組である「緩和策」とともに、将来起こりうる温暖化の影響を知り、その影響にあらかじめ備え、対処する取組である「適応策」を進めていくこととしました。

また、尼崎市においても、「第2次尼崎市地球温暖化対策地域推進計画」の改定にともない、「適応策」について検討していくこととなる等、市や町でも「適応策」の検討が進められようとしています。

そこで、県民のみなさまに身の回りで感じている温暖化の影響やそれにどう向き合っていくか等を話し合い、「適応策」について理解を深めていただくとともに、みなさまのお知恵をお借りして、今後、県や市が「適応策」をどう進めて行くべきかを検討するために、『みんなで考える「温暖化からひょうごを守る適応策」 in 尼崎』を開催させていただくことになりました。

ご参加いただくみなさまには、当日までに本アンケートにご協力いただくとともに、当日、グループに分かれて、自由にご意見・ご要望等をお話しいただきたいと思っております。

いただいたご意見・ご要望等は、今後の「適応策」の方向性を決定する貴重な知見となりますので、ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

Q1 ご自身についてご記入、または○で囲んでください。

年 齢	20歳未満 ・ 20～30歳未満 ・ 30～40歳未満 ・ 40～50歳未満 50～60歳未満 ・ 60～70歳未満 ・ 70～80歳未満 ・ 80歳以上		
居住地または 通勤・通学先	郵便番号（〒 ） 市町名（ ）市・町 ※この地域に居住または通勤・通学されて何年目ですか？（ ）年目		
職 業	会社員 ・ 公務員 ・ 農林水産業従事者 ・ その他の職業 ・ 学生 ・ 無職		
氏 名		男 女	男性 ・ 女性

Q 2 地球温暖化の影響はすでに現れていると思いますか。1つ選択し、()に○を入れてください。

- () そう思う (→Q 3へ)
- () どちらかといえば、そう思う (→Q 3へ)
- () どちらかといえば、そう思わない (→Q 5へ)
- () 全くそう思わない (→Q 5へ)
- () わからない (→Q 5へ)

Q 3 Q 2で「そう思う」または「どちらかといえば、そう思う」と回答された方にお伺いします。どのようなことから地球温暖化の影響が現れていると思いますか。思い当たるもの全てについて、()に○を入れてください。

- () 気温の上昇 (夏の高温化、猛暑日の増加、暖冬など)
- () 降水量の増加 (集中豪雨や大型台風の増加など)
- () 降水量の減少 (雨が降らない日の増加、水不足の日の増加など)
- () 降雪の変化 (雪の降り方の変化、積雪量の変化など)
- () 海面の上昇 (高潮被害、砂浜の減少、河口域の変化など)
- () 熱中症患者の増加
- () 熱帯性の感染症の増加 (デング熱など)
- () 農作物の収穫量や品質の変化 (米の品質低下、果物の種類の変化など)
→具体例があれば、下欄にご記入ください。

- () 水産物の漁獲量や魚種の変化 (南方系の魚の増加など)
→具体例があれば、下欄にご記入ください。

- () 水害の増加 (洪水氾濫、土砂災害、浸水被害など)
→具体例があれば、下欄にご記入ください。

- () 昆虫や草花等、身近に見られる動植物の種類の変化
→具体例があれば、下欄にご記入ください。

- () 植物の生育の変化 (サクラの開花や紅葉の時期等の変化など)
→具体例があれば、下欄にご記入ください。

() その他（下欄に具体的にご記入ください）

Q 4 Q 3で回答された方にお伺いします。 Q 3で回答された内容について、具体的に暮らしの中で地球温暖化の影響を実感することにはどのようなことがありますか。また、それは、過去何年前と比べて（または何年前から）実感していますか。

記入例：過去10年程前に比べて冷房をつける日数が増えて電気代が増えた。

過去20年程前に比べて猛暑により家庭菜園などで植物の生育が悪くなった。
10年程前から家庭菜園などで害虫が増加している。

Q 5 以下、全員にお伺いします。 将来、どのような現象が大きく現れた場合、特に心配ですか。特に心配となるもの全てについて、() に○を入れてください。

- () 気温の上昇（夏の高温化、猛暑日の増加、暖冬など）
- () 降水量の増加（集中豪雨や大型台風の増加など）
- () 降水量の減少（雨が降らない日の増加、水不足の日の増加など）
- () 降雪の変化（雪の降り方の変化、積雪量の変化など）
- () 海面の上昇（高潮被害、砂浜の減少、河口域の変化など）
- () 熱中症患者の増加
- () 熱帯性の感染症の増加（デング熱など）
- () 農作物の収穫量や品質の変化（米の品質低下、果物の種類の変化など）
→具体的に心配となることがあれば、下欄にご記入ください。

- () 水産物の漁獲量や魚種の変化（南方系の魚の増加など）
→具体的に心配となることがあれば、下欄にご記入ください。

- () 水害の増加（洪水氾濫、土砂災害、浸水被害など）
→具体的に心配となることがあれば、下欄にご記入ください。

- () 昆虫や草花等、身近に見られる動植物の種類の変化
→具体的に心配となることがあれば、下欄にご記入ください。

- () 植物の生育の変化（サクラの開花や紅葉の時期等の変化など）
→具体的に心配となることがあれば、下欄にご記入ください。

- () その他（下欄に具体的に記入ください）

Q 6 地球温暖化対策のうち、温暖化の進行を食い止めるために温室効果ガスの排出を抑制する取組を「緩和策」、温暖化の影響にあらかじめ備えておく取組を「適応策」と言いますが、今回のアンケート票を読む前からそれらの言葉について知っていましたか。

- () 「緩和策」「適応策」ともに知っていた
() 「緩和策」のみ知っていた
() 「適応策」のみ知っていた
() どちらも知らなかった

Q 7 地球温暖化対策（「緩和策」、「適応策」のどちらでも構いません。）について、県・市・町に期待すること等のご意見がございましたら、以下にご自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご回答ありがとうございました。
当日（2月20日（火））忘れずに会場までご持参いただきますよう
よろしく願いいたします。

